

## 乾式貯蔵施設に関する関西からのメッセージ

### 原発から 30km 圏内の京都府北部での住民アンケート結果に基づき 福井県内外で住民説明会を求めてください

関西の自治体では、説明会や事前了解の権限を求める意見が強まっています

福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会 会長  
若狭町長 渡辺 英朗 様

春の訪れを前に、まだ寒い日々が続いています。日頃は、原発問題においても若狭町の皆さまの安全のためにご尽力いただきありがとうございます。

関西電力の原発で事故が起これば、若狭町と同様に、関西も被害地元となってしまいます。このような立場で、今回は関西の市民団体からメッセージをお送りします。

関電の使用済燃料対策の「新ロードマップ」は、延期を繰り返す六ヶ所再処理工場の稼働を前提としており、実効性はありません。しかし、福井県知事等が「実効性あり」と判断し、国の審査に合格すれば、乾式貯蔵施設の建設が事前了解されてしまうことを、私たちは危惧しています。国の審査は進んでいますが、狭い敷地に設置するため、土砂災害でキャスク（または格納設備）が埋もれれば除熱できるのか等の評価は不十分なままです。

他方、関電の「新ロードマップ」の実効性判断や乾式貯蔵施設などの重要な問題は、住民説明会さえ開かれず、福井県と立地自治体等の判断で進められていきます。若狭町を含む福井県準立地の市町、並びに京都府、滋賀県の 30km 圏内の周辺住民、自治体の声は蚊帳の外です。

以下で、アンケート結果、京都府自治体への申入れ等の状況を紹介いたします。若狭町並びに準立地協議会での検討と判断に役立てていただければ幸いです。

#### 1. 京都府北部の住民アンケート結果

私たちは、住民の皆さんの思いを知り、その声を自治体に伝えるために、昨年 6 月から 11 月に、高浜原発 30km 圏内の京都府北部 7 市町\*で住民アンケートを実施してきました。一軒一軒訪ねてアンケートをお願いし、対話を通じて避難問題や乾式貯蔵、原発についての思いや疑問等を聴いてきました。（※7 市町：舞鶴市、綾部市、京丹波町、福知山市、南丹市、宮津市、伊根町）

舞鶴市 P A Z の 20%、6 市町 U P Z の 5% の世帯から、857 名のアンケートが集まりました。アンケート結果の特徴は以下です。[詳細は別紙アンケート結果を参照してください]

- 「乾式貯蔵の計画は知らない」「説明すべき」が約 8 割
- 乾式貯蔵に「反対」と「先に搬出先・貯蔵期間を決めるべき」の合計が約半数。関電の計画に批判的な声です
- 老朽原発の運転継続に半数以上が「反対」

- 「これ以上核のゴミを子や孫に残したくない」との声が多く聞かれました

このように、乾式貯蔵の計画はほとんど知らされておらず、多くの皆さんが説明を求めています。

## 2. 京都府北部の自治体への申入れ等

私たちは、このアンケート結果を京都府北部の自治体に伝えています。

### (1) 宮津市の回答：住民の不安の声に対し、関電は市民に説明すべき

2月26日には、全市がUPZに入る京都府宮津市に申入れを行いました。担当者は、以下のように、乾式貯蔵施設について「先が見えない計画」と称して、関電は市民に説明すべきと回答されました。

- 乾式貯蔵施設は重要な変更にあたる（滋賀県が安全協定を踏まえて意見書を出した根拠です）
- アンケート結果は住民の声として尊重する
- 何年間保管するのか等先が見えない乾式貯蔵計画について、関電は市民に説明すべき

### (2) 京都府、綾部市の議員との懇談：事前了解の権限等を求める

綾部市には1月30日に、京都府には昨年12月24日に同様の申入れを行いました。両自治体とも議論の最後には「アンケート結果は尊重する」と回答されました。申入れの後の綾部市の府議会議員・市議会議員の皆さんとの懇談では、「乾式貯蔵の住民説明会は必要」「京都府も事前了解の権限を求めていくべき」とのお話もありました。福井県と立地自治体だけに事前了解の権限があることに批判が強まっています。

### (3) 滋賀県：安全協定に基づき関電に意見書を提出

滋賀県は昨年（2024年）3月22日に、関電との安全協定に基づき、乾式貯蔵施設に関する意見書を関電に提出しました。「貯蔵期間の長期化の懸念」「格納設備の耐震性等への不安」等から、関電に説明を求めています。[滋賀県の意見書 <http://x.gd/Dyup0> ]

以上のような関西 30km 圏内の声も踏まえていただき、福井県及び立地自治体等だけで乾式貯蔵施設の建設を事前了解しないよう、住民説明会の実施等を県知事に求めてください。

福島原発事故から14年を経ても、避難者の苦悩は続いています。また、能登半島地震では避難できないことも明らかになりました。被害だけが住民に負わされることがあってはなりません。これら教訓を汲み取り、民の声に耳を傾けていただけるよう切に願います。

2025年3月3日

避難計画を案ずる関西連絡会

（連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会）

この件の連絡先：美浜の会 大阪市北区西天満4-5-8 八方商事第2ビル 301号 TEL：06-6367-6580